

令和3年度 3年 音楽科 年間指導計画・評価計画

1. 目指す生徒像

学年末の到達目標「表現及び鑑賞の幅広い活動を度押しして、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する」

『知識・技能』…曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技術を身に付けるようにする。

『思考・判断・表現』…曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

『主体的に学習に取り組む態度』…主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

2. 評価方法

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 授業プリント 演奏 授業観察 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 授業プリント 実技テスト 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 授業プリント

3. 年間指導計画・評価規準

月	単元	時数	学習活動	①	②	③	評価規準（おおむね満足できる B）
4 5 6 7	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう。	3	二部合唱の合唱に取り組むことを通して、歌唱表現の創意工夫をし、響きの豊かな歌声を目指す。	○			<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で楽曲を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技術を身に付け、歌唱で表している。 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい歌唱表現をどのように表すかについて思いや意図をもっている。 楽曲の曲想と音楽の構造や歌詞の内容と関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	作者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。	2	表題のイメージが音色、速度、旋律、強弱などと結び付いていることを知り、曲想と音楽の構造との関わりについて考えながら鑑賞する。	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌唱しよう。	2	曲想と音楽の構造や歌詞の内容、背景との関わりについて理解し、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫しながら歌唱する。	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の曲想と音楽の構造や歌詞の内容、背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かし、全体の響きを聴いたり、他者と合わせたりして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 リズム、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、楽曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 歌詞が表す情景や心情、背景などに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の

	言葉の抑揚を生かして創作表現を工夫しよう。	3	音階や言葉などの特徴や音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	○			<ul style="list-style-type: none"> 学習活動に取り組もうとしている。 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について表したいイメージと関わらせて理解する。 創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿ったとの選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している。 リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 言葉を基にイメージと関わらせて旋律を作ることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
	曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう。	2	楽曲の曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、器楽表現を創意工夫して行う。	○			<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように演奏するかについて思いや意図を持っている。
9 10 11 12	パートの役割を理解して響きのある声で合唱しよう。	4	曲想と歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに着目し、合唱の表現の工夫をする。	○			<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 曲想と歌詞の内容の関わりや、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	日本の伝統音楽の特徴を考える。	4	日本の伝統的な楽器の演奏方法を知り、和楽器特有の音色を味わう。また、実際に演奏することで日本の伝統音楽の特徴やよさについて考える。	○			<ul style="list-style-type: none"> 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能、創意工夫を生かした、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 楽器の特徴や基礎的な奏法に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	伝統の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう。	2	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞する。	○			<ul style="list-style-type: none"> 伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。

	曲種に応じた発声を生かして、歌唱表現を工夫しよう。	2	合唱曲を歌う時とは異なる、ポピュラー音楽特有の色の音色を意識し、歌唱表現の工夫をする。	○ ○ ○	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・声の音色や響き、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲にふさわしい歌唱表現の活動を通してどのように表すかについて思いや意図をもっている。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組んでいる。
1 2 3	ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう。	3	ポピュラー音楽の様々なジャンルから何曲か鑑賞することで、生活や社会における音楽の意味や役割を考え、音楽のよさや美しさを味わう。	○	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。 ・音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・ポピュラー音楽のリズムや音色、旋律、音の重なりなどに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう。	4	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	○ ○	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ・音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 ・歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
	曲のよさをプレゼンしよう。	4	3年間で学習したことをもとに、選んだ楽曲の音楽的な特徴やそれから感じられる雰囲気についてまとめ、プレゼンテーションをする。	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ楽曲の音楽的な特徴やその雰囲気と音楽的諸要素の関わりについて考え、理解している。 ・音楽的諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、まとめている。 ・楽曲の音楽的な特徴に関心を持ち、プレゼンテーションの作成に主体的・協働的に取り組んでいる。